

1	審議会名	令和3年度 第1回安曇野市文化財保護審議会
2	日時	令和3年11月2日(火) 午後1時30分から午後4時00分まで
3	会場	安曇野市役所本庁舎 共用会議室301
4	出席者	百瀬新治、倉石あつ子、大澤慶哲、梅干野成央、松田貴子
5	市側出席者	教育長 橋渡勝也、文化課長 山下泰永、文化財保護係長 中谷高志、 文化財保護係 土屋和章、齊藤雄太
6	公開・非公開の別	一部非公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和3年11月11日

1 開会

2 挨拶

教育長より挨拶

3 報告事項

令和3年度文化財保護事業について

【事務局】

主に穂高造本殿調査、神社の棟札調査、古民家調査、中房温泉の巨石固定工事、B27号墳調査について説明。

【委員】

穂高神社の払下げ社殿については豊科真々部の諏訪神社が最も古い可能性が出てきた。小田多井の八幡社の一つ前の造営と推定される。中曾根の諏訪神社は江戸中期後半と言われていたが、「慶長20年」という墨書があった。市内最古級の建造物ではないかと思われる。

【委員】

轟家には、三方が壁で全面に様々な文書が張ってある部屋があった。住人が存命しておらず、用途が不明である。歴史的建造物関係の資料を調べている。

質疑

【会長】

①國學院大学による調査の成果について

②安曇野市誌編纂等に向けて具体的に補足的な調査などをやる計画があるか

【事務局】

①F9号墳については、石室の規模、構造がわかったが、墳丘の裾が破壊されており、範囲について現場でも見解が分かっている。E6号墳については、墳丘の表土約30cmの下位にロームの堆積があり、完形品に近い須恵器が出土した。盛土かどうかは今年の調査では確認できなかった。周溝についても不明。今後の調査についてはこれから協議する。

②今後の市誌編纂についてはこれから協議する。國學院大学の調査はまだ数年かかることが予想されるが、その成果を反映したい。またコロナ禍が終息すれば見学会や講演会も企画したい。

4 協議事項（非公開）

安曇野市情報公開条例第5条第1項第5号の規定により非公開

5 その他

なし

6 閉会